

“某TV局取材” 無人島サバイバル日記

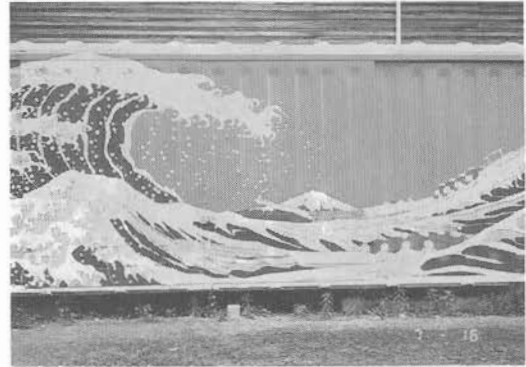
経済学部学生 沖田喜央



6月15日、我々ナチュラルリストの会のメンバー6人は宇治島に上陸した。4日間のサバイバルの始まりである。手持ちの食糧は米、みそ、小麦粉のみ。あとは現地調達。果たしてうまくやっていけるのだろうか。16日、この島の鶏は朝3時から鳴く。おかげで寝不足。しかも雨。おまけに風が強くなり、天幕は飛ばされかかるわ、まきは濡れるわ、火は消えるわで大わらわ。その後雨中の食糧調達。もうウンザリ。夜、いさり火の中を御馳走の幻影が行き来する。これで寒けりゃマッチ売りの少女の世界だな。17日、TV局の意向で探検と素潜り。道なき山に登り、冷たい海に潜る。この日は苦勞したかいがあった。鱈、ペラ、サザエ、蟹、ワラビ、桃……われわれは遂にコーブランチを越えた。18日、後始末と動物との別れ。手のりウサギ、宇治丸と非常食用の鶏、ピンチ改めラッキーを放す。が彼らは逃げない、悠然と餌を食べている。この島の動物は本当に図太い。午後3時、いよいよ島を離れる。疲労感と安堵感と開放感、そして一抹の寂寥感。そういった思いをこめて、我々は遠ざかる島に向け、いつまでも手を振りつづけるのであった。

アクリル水彩同好会

法学部学生 佐藤裕幸



2食横の貨車に Art (3面共)

はじめまして。アクリル水彩同好会です。私達は“絵”が好きな人間の集まりで、週2回の“練習会”は個性的絵画の出発点です。絵を描くための画材は、ペン・パステル・透明水彩・油 etc と様々で、個性重視という言葉がぴったりです。そして、それらの絵画の発表の場“水彩展”が年5、6回あり、大学会館2階ラウンジや第5集会室(採光が良い)で開いています。当然無料なので機会があればぜひ観に来て下さい。

我がサークルの拠点 Box は生協書籍部の2階にあります。そこには、絶え間なく人がおり(?)、雑談があったり、笑いがあったり、とても賑やかです。春と夏の休みの中には、どっかへ合宿に行こうとか、スケッチ会への企画等も、ここからでているのです。

現在の悩みは、西条に行ってしまう人が、割と多いということですが、バイタリティあふれる1、2年と、その上をいく3、4年生で、千田での活動も、大丈夫でしょう。ぜひ一度皆さんのぞきに来て下さい。それでは。